

誰もが個人として尊重され
平和な生活をおくることができる社会をめざして



ウクライナ避難者支援

報告と提言

あいち・なごやウクライナ避難民支援ネットワーク

「報告と提言」

2025年3月21日

あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワーク

2025年3月21日

発行趣旨

本冊子は

2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻をうけて

日本に避難してこられたウクライナ避難民を

東海地域で、民間団体と自治体が力をあわせて支援してきた内容を記録し

その経験を今後にいかすための「報告と提言」です。

はじめての「ウクライナ避難民支援」ではありますが

その多くは、国籍を問わず「難民支援」や「定住外国人支援」において

これまで積み上げて経験があったからこそ、行えたものでした。

また、戦争・紛争による避難だけでなく

大規模災害で故郷を離れて避難し、生活困難を抱える方々の支援において

民間団体と行政が、また異なる分野の民間団体が

力をあわせて取り組んできた経験にも支えられました。

誰もが個人として尊重され、平和な生活をおくことができる社会をめざし

地域の条件にあわせた、官民連携・民民連携をすすめられるよう

本冊子が、多くの方々に活用いただけることを願います。

目次

発足

ウクライナから愛知県への避難にはどのような特徴がありますか	P04
あいち・なごやでの支援ネットワークはどのように発足しましたか	P07
あいち・なごやウクライナ避難者支援ネットワークはどのような特徴をもっていますか	P11

連携

この3年間、どのように連携して取り組みましたか	P12
自治体との連携は、どのように始まりましたか	P19
名古屋市とは、どのように連携していますか	P20
県や各市町村とは、どのように連携していますか	P28
各市町村での受け入れには、どのような特徴がありましたか	P34

活動

支援ネットワークでは、どのように支援に取り組みましたか	P36
どのように個別支援・同行支援を行いましたか	P42
どのような団体・専門家・支援者のつながりがありますか	P44
情報やコミュニケーションではどのように工夫していますか	P47
ネットワーク組織の運営は、どのように工夫しましたか	P51
活動の財源は、どのように確保し、活用しましたか	P52

課題

現在ウクライナ避難民は、どのような課題を抱えていますか	P53
「住まい」では、どのような支援が行われていますか	P64
「生活圏のつながり」では、どのような経験と課題がありますか	P67
「就労」は、どのように進みましたか、教訓や課題はどのようにですか	P70
「言語（母国語・日本語）」学習の方法や課題はどのようにですか	P73
「進路の選択やキャリア形成」では、どのような事例がありますか	P76
「健康・医療」では、どのような対応がされましたか	P79

評価

「補完的保護対象者認定」制度、定住支援プログラムはどのように評価できますか	P81
ウクライナ避難民の自立はどのように進みましたか	P85
定住外国人支援や難民支援の視点からは、どのように評価できますか	P89
今後に向けて、この経験を活かすには、どのようにすればいいでしょうか	P91

資料

認定NPO法人レスキューストックヤード「あるある」特集 より	P93
NPO地域と協同の研究センター研究センターNEWS より	P99